

令和元年度宇部市公共交通協議会第1回会議録

日時：令和元年（2019年）6月26日（水） 9:30～11:30

場所：宇部市総合福祉会館 3階 講習室

出席者：17名（欠席者3名）

榊原会長、木下副会長、大谷委員、綿部委員、辻野委員、糺委員、
中村委員（代理出席）、秋本委員、吉川委員、藤岡委員、徳光委員（代理出席）、
吉原委員、木原委員、森山委員、山根委員、萩原委員、安平委員

事務局：6名

総合戦略局 村上次長、共生社会ホストタウン推進グループ 中村グループリーダー、
大木サブリーダー、伊藤チーフ、久保田主任、金子

次第：1 委員の紹介

2 議事

【形成計画関係及び道路運送法関係】

- (1) 会長、副会長、監査委員の選任
- (2) 平成30年度収支決算及び監査報告
- (3) 宇部市地域公共交通網形成計画の目標に対する達成度の評価と課題
- (4) 令和元年度予算（案）
- (5) 宇部市地域公共交通再編実施計画の変更

【道路運送法関係】

- (6) くすのき号の変更
- (7) 吉部・万倉地区デマンドバスの変更
- (8) 原校区コミュニティタクシーの変更
- (9) 桃山地域コミュニティタクシーの変更
- (10) 東岐波校区コミュニティタクシーの変更
- (11) 小野きずな号の運賃変更

3 その他

1 委員の紹介

2 議事

【形成計画関係及び道路運送法関係】

(1) 会長、副会長、監査委員の選任について

事務局の推薦により、会長は榊原委員、副会長は木下委員、監査委員は綿部委員と吉原委員とすることを決した。

(2) 平成30年度収支決算及び監査報告について **【承認】**

事務局及び前監査委員から、平成30年度収支決算及び監査報告を行い承認された。

(質問、意見なし)

(3) 宇部市地域公共交通網形成計画の目標に対する達成度の評価と課題について 【承認】

事務局から、宇部市地域公共交通網形成計画の目標に対する達成度の評価と課題について説明を行った。

(質問、意見なし)

(4) 令和元年度予算(案)について 【承認】

事務局から、令和元年度予算(案)について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

【委員】

主要幹線等のモビリティ・マネジメント業務とは何ですか。

【事務局】

都市拠点、地域拠点を結ぶ区間を主要幹線として、バスを高頻度で等間隔運行しています。その主要幹線を、ロゴ、キャッチコピー、カラーリングなどを工夫し分かりやすくすることで認知度を高めていき、バスの利用促進を行う業務です。

【会長】

地方での移動手段として、多くの方が選択するのは自動車です。バスなどの公共交通機関は、検討する以前に選択肢にないという状況にあります。公共交通の利用を働き掛けることで、公共交通の利用が高まる効果があることは分かっており、こうした取組みのことをモビリティ・マネジメントと言います。

宇部市では、例えば公共交通のマップは、改良を重ねて、実際の地図に即した内容のものになっており、皆様のお住まいの最寄のバス停が、どの位置にあるか分かりやすくなっています。今回は、主要幹線として位置付けた路線を、より分かりやすくしてアピールすることで公共交通の利用促進をしていくものと理解しています。

【委員】

主要幹線等のモビリティ・マネジメント業務の予算ですが、平成30年度は75万円でしたが、令和元年度は150万円と倍になっていますが、これは昨年度分の75万円を上乗せし、150万円となったということですか。

【事務局】

昨年度分を上乗せし、今年度は、内容をより充実させ実施したいと考えています。

【会長】

公共交通マップのデザインの見直しなどになると考えています。デザインというのは、漠然としていて金額が分かりにくい部分があります。ただ、宇部市では、JR宇部線関係のイベントのチラシなどで、多くの人に見てもらい知ってもらうためにデザインに力を入れています。本件に関しても、今年度は国からの補助もありますので、効果が最大化するようお願いいたします。

(5) 宇部市地域公共交通再編実施計画の変更について 【承認】

事務局から、宇部市地域公共交通再編実施計画の変更について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

宇部市地域公共交通再編実施計画は、2017年から2021年の5年間で計画期間となっています。計画期間中に内容を変更することは、本来であれば避けたい事象ではありますが、運転手不足から変更せざるを得ない状況になっています。その状況について、運行事業者から説明をお願いします。

【委員】

運転手不足がとにかく深刻です。昨年説明した時よりも、今年は更に状況は深刻になっており、当社では昨年お伝えした運転手270名から更に減り、現在は256名となっています。300名が適正だと思っていますので50名が不足している状況です。運転手が減ると一人あたりの仕事が増えるため、それが原因となって芋づる式に退職に繋がることもあります。20～30代の運転手が全体の17%程度しかいないこともあり、今後も深刻な状況が続くと考えています。2年前より段階的に定年年齢を上げるなど対策を講じていますが、それでもなお不足しています。人口減少で利用者数も減っていますが、利用者の影響が最小限となるよう、利用の少ない日中の便を中心に削減させていただきたいと思えます。路線を維持するためにも何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

【委員】

団塊世代の運転手の退職を補充ができていないため歪みが出てきています。再編実施計画がありますので減便は避けたいところではありますが、運転手が8名不足しています。勤務を減らすなどしていますが、それに合わせて運転手が減っていくというイタチごっこのような状態が続いています。免許取得制度で最大50万円を助成することにしてはいますが、それでも応募もない状況です。

【委員】

運転手不足は仕方のないことだと思います。一方で、それではどうしたら良いかという部分を皆様の知恵で考える必要があると思います。運転手不足だから減便し不便になるということでは、いけないのではないのでしょうか。

【会長】

国では制度的な議論もかなりされていますし、運行事業者は担い手確保のための処遇改善など策を講じて努力している状況です。今回の変更は、苦渋の決断であり、諸手を上げて賛成というわけではありませんが、極力影響が小さくなるような配慮もしていただいています。一朝一夕に解決できることではないですが、この協議会でもより良くなる方法を考えていきましょう。

【事務局】

この再編実施計画は、その他の書類を添付し、国土交通省に変更の認定申請を行うこととなりますが、今後の軽微な文言等の修正の確認につきましては、会長に一任させていただいた

いと思います。

委員全員の賛同があり、再編実施計画の変更認定申請にかかる軽微な文言等の修正について、会長に一任することを決した。

【道路運送法関係】

(6) くすのき号の変更について 【承認】

事務局から、くすのき号の変更について説明を行い承認された。
(質問、意見なし)

(7) 吉部・万倉地区デマンドバスの変更について 【承認】

事務局から、吉部・万倉地区デマンドバスの変更について説明を行い承認された。
(質問、意見なし)

(8) 原校区コミュニティタクシーの変更について 【承認】

原コミタク運営協議会が欠席のため、代わりに事務局から、原校区コミュニティタクシーの変更について説明を行い承認された。
(質問、意見なし)

(9) 桃山地域コミュニティタクシーの変更について 【承認】

桃山地域コミュニティタクシー運営協議会から、桃山地域コミュニティタクシーの変更について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

他の地域では、スーパーの特売日などに合わせて運行日を決めています。桃山地域コミュニティタクシーの沿線のスーパーでは、特売日が無いということですが、どういった理由で火曜日を運休にするのでしょうか。

【協議会】

曜日ごとの利用実績に大きな差はありません。地域住民の意見を聞いた上で、火曜日を運休することとしました。

(10) 東岐波校区コミュニティタクシーの変更について 【承認】

東岐波校区地域内交通運営協議会から、東岐波校区コミュニティタクシーの変更について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

コミュニティタクシーは、バス以上に試行錯誤しやすい面もありますので、地域の声を良く聞いていただいた上で、改善しながら利便性の高いものにしていただきたいと思います。

現在、コミタクが5地区で運営されていますが、現状ではうまくいっている地域も導入初期

はご苦労されたと思います。各地域が直接話をする場を設けるなり、ノウハウをまとめた資料を作るなり、そういった取組みを事務局である市にはお願いしたいと思います。今後、新たに実施するところでも参考になるのではないのでしょうか。

【事務局】

各地域で会議をする時は、市の職員が出席し、他の地域の状況や取組を説明することで情報提供していますが、現在、直接話をする場はありませんので、今後検討します。

(11) 小野きずな号の運賃変更について 【承認】

事務局から、小野きずな号の運賃変更について説明を行い承認された。

(質問、意見なし)

(12) その他

【委員】

再編実施計画の変更は、運転手不足が原因で安全運行を考えると、承認せざるを得ない状況です。しかしながら、便の廃止、時間の変更など頻繁に内容が変わる公共交通の現状では、高齢者は安心して免許返納ができません。宇部市内でも高齢者の事故も多くなっており、大きな問題となっています。運転手不足が深刻であるという状況は承知しましたが、もう少し利用者の目線でも物事を考えていただければ幸いです。

【会長】

非常に痛感するところです。再編実施計画では、計画期間の見通しを立てて公共交通を再編し維持することが目的です。しかしながら、今回はヒトの問題で、運転手の勤務が過酷になっていることで安全運行に支障をきたす恐れがあり、高齢者の事故同様あつてはならないことです。申し訳ございませんがご理解いただきたいと思います。

【委員】

コミュニティタクシーは、停留所や運行ルートや運行ダイヤを、全くノウハウがない中で、決めていくことは非常に大変だと思います。そのあたりのノウハウが蓄積できれば良いと思います。

また、バスについては、停留所が古くなっている、上屋がない、ベンチがないなど色々と改良すべき点があるのではと感じています。その点に関しては、道路管理者、交通管理者などと意見交換しながら進めてもらいたいと思います。

【会長】

道路関係者や警察の方にも、この会議に参加していただいているということはそういった点も含めてのことですので、今後も幅広く議論いただきたいと思います。